



OLIVE ニュース 7月 2019

月刊紙

【8月の予定】5日 工賃支給日

設立記念会のご参加ありがとうございました。愛篤福祉会の設立 15 周年は工房 阿列布開所から 15 周年でもあります。これを大切な節目とし、職員一同力を合わせてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
工房 阿列布管理者 佐藤 央庸



設立記念会に寄せられた利用者の声をご紹介します

新しく出来た工房 阿列布に初めて入った時、広くて天井が高い部屋だと思いました。それからいろいろな仕事をしました。

最初は段ボールの仕事をしました。今はせっけん、ビス・キャップです。仲間も最初は少なかったけど今は大勢で頑張っています。
(博康)

私は今から二十年前、小規模作業所の頃の阿列布に入りました。私は阿列布に入って幸せです。それは、みんなと出会ったからです。前に股関節を骨折し手術する大きな怪我をして入院した事がありました。その時、みんなから手紙をもらいました。手術して、しばらくの間ベッドの上で身動きがとれず痛みとの戦いでした。

そんな時みんなからもらった手紙に勇気づけられました。つらいハビリも頑張れました。こんな素晴らしい仲間と阿列布で将来もずっと過ごして行きたいです。
(桂子)



グループホームから静修苑と工房 阿列布に通っています。どっちの事業所も好きです。この前、北海道に行きました。KAKA 'Sの人と話したり野球を見に行きました。楽しかったです。(悦子)

見学者が続いています

夏休みが始まると支援学校からの見学が多くなります。支援学校の生徒、保護者さんの見学もありますが7月26日は支援学校の先生方の見学でした。工房阿列布も事業所を知っていただく良い機会です。就労はビス・キャップ作業を中心に作業内容が色のついたカードで示している事や完成品のチェックを色別の箱で行っている事を紹介しました。生活介護はリズム体操をしているところを見学してもらいました。



感謝

二十四日、歯科検診が行われました。毎年、新藤先生と歯科助手の皆さんが事業所に来て利用者の歯の状態を見てくれます。

かかりつけの歯医者さんを持たない人もいる為年に一度行われるこの検診は歯のケアの大切な目安になっています。今年には工房阿列布に編成された静修苑の利用者も検診を受けました。

新藤先生によるボランティアは工房阿列布の開所時から続いており大変感謝しております。本当にありがとうございます。

